

一般社団法人佐賀青年会議所 2025年度基本方針	
愛と感謝のSAGAイノベーション委員会 委員長 力丸 哲	
委員会 スローガン	Be hundred saga ～百の英雄譚となれ～ 100人に満たない佐賀青年会議所メンバーの一人ひとりでたくさんの英雄譚を作ろう
委員会 基本方針	沢山の仲間たちが自身も笑顔で、周囲や地域に笑顔を与えながら、長期的に持続可能な地域変革を継続していける組織及び地域を創造します。
委員会 設置背景	佐賀の魅力の向上や再認識のため、一般社団法人佐賀青年会議所では様々なまちづくり活動をしてきました。しかし、佐賀県の人口減少、少子高齢化が進み、佐賀青年会議所も会員数が減少しています。まちづくり活動は継続的、有機的に行われていくこと、そして持続可能な活動であることが重要です。我々も限られたリソースの中でより良い地域の持続可能な変革を継続していくため、佐賀青年会議所内での業務効率化を推進し、共に地域を支える各団体へのより深い理解・協力関係を得る必要があります。
委員会 設置目的	例年実施の恒例事業に関する業務効率化及び標準化を進め、関係する各種団体・企業との連携協力関係をより一層強くし、事業、組織、地域の発展を長期的に持続可能な形にすることを目的とします。
委員会 事業概要	1.新年会(1月)
	一般社団法人佐賀青年会議所のメンバーが、全国大会を始めとする事業への気運を高めることができ、一致団結して、2025年度を勢いづかせる新年会企画を実施します。全国大会を主催する公益社団法人日本青年会議所や、来賓として招く佐賀青年会議所以外の各青年会議所を始めとする各種団体・企業との連携協力関係の強化につなげます。
	◆パートナー (1)(公社)日本青年会議所 国家グループ 全国大会運営会議 (2)(公社)日本青年会議所 九州地区 協議会 (3)(公社)日本青年会議所 九州地区 佐賀ブロック協議会 (4)佐賀青年会議所 シニア・クラブ (5)佐賀県・県内各市町 (6)佐賀県知事 (7)佐賀県内市町村長 (8)議員 (9)各種団体・企業
	2.佐賀城下栄の国まつりでの企画・運営(5月・6月)
	佐賀県民のふれあい・シビックプライド・郷土愛を育むために、まず、諸先輩が築いた伝統である佐賀城下栄の国まつりの花火打上事業の新たな資金調達方法を実施して長期的に持続可能な形にし、未来の子どもたちにも花火を見てもらえるようにします。次に、佐賀城下栄の国まつりの総おどり等の企画に参画し、地元の楽しさを再認識するとともに、地域を支える各団体との交流を深めます。 ◆パートナー (1)佐賀城下栄の国まつり振興会 (2)佐賀青年会議所 シニア・クラブ (3)(一社)佐賀青年会議所 OB (4)(一社)佐賀青年会議所 賛助会員 (5)各種団体・企業
3.11月例会の企画・運営(薩長土肥・11月例会)(11月)	
	第74回全国大会佐賀大会実施直後、かつ2025年度終盤の例会であり、小規模LOMでも持続可能な事業を実施拡大させるため、全国大会の事業で構築したノウハウ及び改善点等を標準化して、薩長土肥の会を実施する公益社団法人鹿児島青年会議所、一般社団法人萩青年会議所、公益

	<p>社団法人高知青年会議所、一般社団法人佐賀青年会議所で情報交換をして気運を高め、小規模LOMでも可能な、全国大会事業、周年記念事業などの地域連携を伴う大規模事業の活性化を促し、次世代にバトンをつなげます。</p> <p>◆パートナー</p> <p>(1)(公社)鹿児島青年会議所</p> <p>(2)(一社)萩青年会議所</p> <p>(3)(公社)高知青年会議所</p>
その他 事業計画	<p>第50回佐賀ブロック大会への支援(5月又は6月)</p> <p>神幸祭(10月)</p>
拡大目標	<p>委員会5名(全体25名)</p>